

田建第 1094 号
平成 20 年 10 月 21 日

国土交通省道路局長 殿

田原本町長 寺田典弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件につきまして、別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県田原本町

・ 県北中和を南北に貫く路線は、京奈和自動車道（大和道路一平成18年4月15日供用開始）により、国道24号の慢性的な渋滞は、緩和されつつ有りますが、奈良盆地を南北に貫く幹線道路は、国道24号、及び24号バイパスの他、国道168号、国道169号、大和中央道等が存在し、末端部分の整備状況が悪く未だに脆弱で有り、十分な機能が果たされていないと考えます。

奈良県の道路改良率は、全国的にも下位にランクし、本町から奈良中心部に行くのに僅か15km程度の距離が1時間弱掛かる様な状況から、道路改良及び交通信号の系統化等により、30分程度で移動出来る様改良を加えるべきと考えます。

《要望》

京奈和自動車道（大和道路）の側道を早期完全整備することにより、脆弱な南北の道路機能を強化出来る事から、早期に供用開始を要望致します。

《改善すべき点》

道路行政の一元化

同じ道路（国土交通省、農林水産省）を造るのに省庁が縦割りで有るが故に無駄な部分があると感じます。日本の国土は南北に長い形状のため自ずと地域差が生じる事から、地域に応じた基準で道路行政を一本化することにより無駄な部分を排除した道路が築造出来ると考えます。

市町村連携による広域的道路整備

大和都市計画区域内に有る市町村を繋げる道路として、市町村道の県道への昇格等を含めて、広域的な道路整備を実施し、ネットワークを構築することにより、大和都市計画内の、弱い部分で有る南北軸の機能強化が、図れると考えます。

生活に密着した中街路計画（collector street）

地域に根ざした道路、住宅地等から、発生する交通を集め、幹線道路に導く道路とした位置付けの道路（6m程度）の整備が必要で、町道の幹線道路がこの中街路に該当するため、道路改良及び維持管理に対する費用が町村の財源を圧迫している。維持管理についてのさらなる財源の拡充を要望致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

奈良県田原本町

○現状

幹線道路で有る南北のアクセスが悪い
田原本町から奈良中心部に行くのに 15 km 程度の距離が 1 時間を要する

奈良県の道路改良率は、全国的にも下位にランクし、京奈和自動車道・大和道路区間は平成 18 年 4 月 15 日に供用を開始され、国道 24 号線の慢性的な渋滞は、緩和されつつ有りますが、奈良盆地を南北に貫く幹線道路は、未だに脆弱で有ります。

○課題

田原本町には、広域的交通を担う幹線道路として、「国道 24 号」、「京奈和自動車道」「主要地方道 桜井・田原本・王寺線」が有ります。

今後、京奈和自動車道の田原本 IC（仮称）、三宅 IC（仮称）にアクセスする主要道路として、都市計画決定されている「主要地方道 桜井・田原本・王寺線」の重要度が高まって来ることから、早期に整備する必要があると考えます

幹線道路の拡幅

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の現状と抱える課題

奈良県田原本町

地方財政を圧迫

地方都市では、公共交通機関の十分な整備が出来ていないため、住民からの要望の有る新規築造道路や、交通量の増大に伴う道路改良工事に要する補助率のアップ（現行 1 / 2）をお願いし、財政基盤の弱い町村の基盤整備の促進を図って頂きたいと要望致します。

田原本町は、平坦な土地で、「大和川（初瀬川）」「寺川」「飛鳥川」「曾我川」の一級河川が、北流し、その部分に架かる町道域の橋は、41 橋あります。

今後予想される、南海・東南海地震に対して架橋後数十年経過している橋もあり、早急に耐震対策の必要性が有るにもかかわらず、実施出来ていないので、橋を対象とした耐震対策に対して補助を要望致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 4

道路施策の重点事項

奈良県田原本町

○重点事項

「京奈和自動車道」の側道に接続する道路に対して、早急に整備を行っています。
地域交通の円滑化を目指して、道路改良及び道路の新設整備を行っています